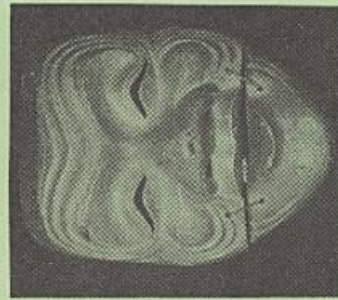
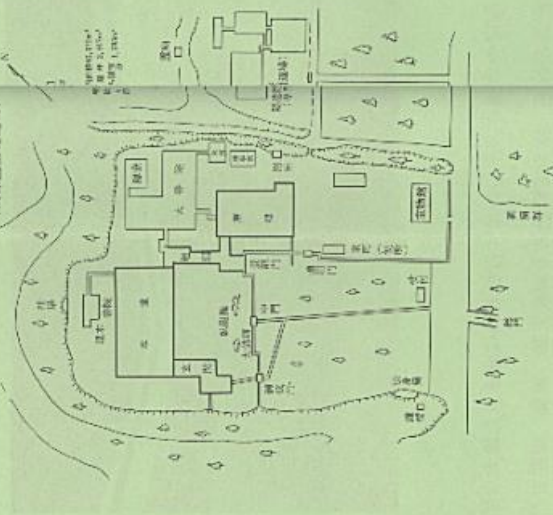


毘沙門天像（木像）は、慈覚大師作で、約千五百五十年
のものといわれている。

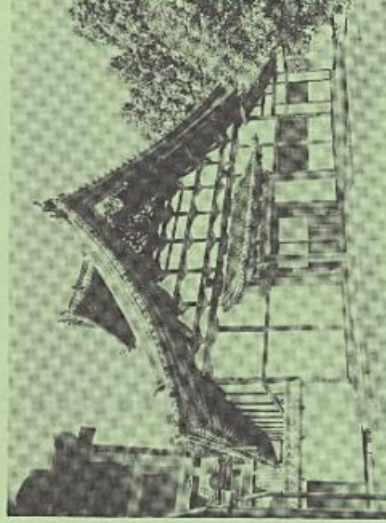


翁面（能面）は、天台宗時代のもので、約千余年の作と
伝えられ、仏工春日作である。

瑞巖寺伽藍配置略図
(大観国玉建造物)



国宝
松島瑞巖寺



宮城県松島町

瑞巖寺

☎02235(4)2023

国宝瑞巖寺、宝物館拝観料金一覧

(昭和54年7月1日改訂)

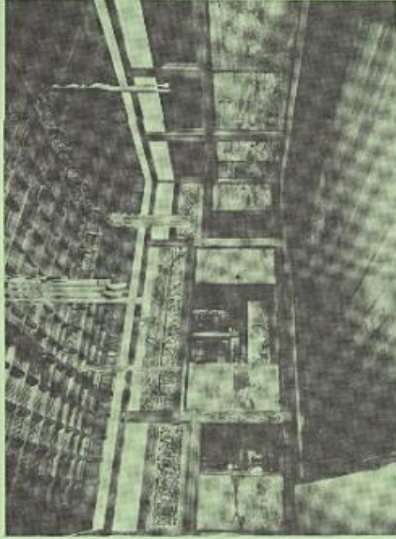
	個	人	団体 30 名以上	団体 100 名以上
大 (大学、各種校舎)	人	3 30	円 2 80	円 2 30
高 校 生	生	2 80	円 1 30	円 1 10
中 学 生	生	2 00	円 70	円 50
小 学 生	生	1 50	円 50	円 30

備 考
1. 大人、高校生以上の拝観者は文化観光施設料300円を含む。
2. 高校生以下の団体は、中門内本堂前庭までとし宝物館には入館出来ません。

(昭和54年7月1日改訂 第6刷発行) 瑞巖寺 福原・発行 堀 敏 寺
監 佐々 久

宝物館（青龍殿）案内

当宝物館は、昭和48年3月の創建になり、外形は奈良天平様式であるが、内部は現代的な収蔵庫と展示室になっている。建物の名を青龍殿という。ここに収蔵される宝什物は、慈覚大師開創以来のものであるが、その主体は瑞巖寺と伊達家に関する文化財千余点である。



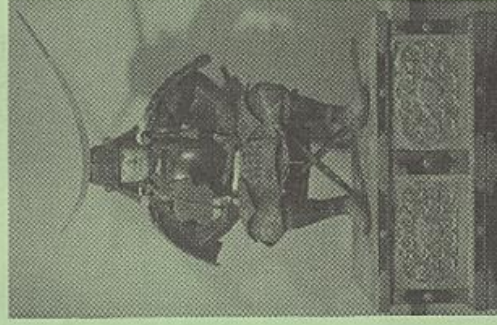
瑞巖寺（青龍山瑞巖円福禅寺）は天長5年（828 AD）慈覚大師の開創と伝えられ、鎌倉期に及んで入宋の法心性西（真贋平四郎俗に法身）を開山の祖として臨済宗の禅寺となった。

仙台藩祖伊達政宗は師父と仰いだ虎哉宗乙禅師のためにこの寺を妙心寺末とし、現在の堂宇を造営して慶長14年（1609）に落成した。政宗の遺志をついだ二代忠宗は雲居希膺禅師を招じて中興の祖とした。

現存する国宝の方丈、庫裡、御成玄閃、廻廊、及び重要文化財の御成門、中門、太鼓拵などは桃山時代の代表的建築物である。

瑞巖寺の誇るべきものは、古松老杉に囲まれた雄大な伽藍配置の妙と、極めて特色ある御成玄閃、廻廊、庫裡などの建築であるが、その中心は方丈室中（孔雀の間）である。

豪壮華麗な花菱格子合天井、欄間、絳欄たる障壁画さらに正面の唐戸など桃山時代寺院建築の粋というべきである。襖の絵は藩の画師佐久間左京、大匠は梅村日向吉次であった。



政宗像は、公が二十七才朝鮮役の軍装で、京の甲冑師の作になり、公の没後十七回忌に本堂に安置された甲冑木像である。今より約三百二十余年前になる。